

第9回 企業部会幹事会

2024年2月15日(木) 13:00～15:00 帝国ホテル

2024年2月15日(木) 13:00～15:00帝国ホテルにて第9回企業部会幹事会が開催されました。

冒頭、小川会長より能登半島地震により被災された方々へお見舞いの言葉を述べられた後、各委員会座長より全体報告、最重点課題の在り方、地域生団連の今後の展開、国家財政の見える化委員会の今後の活動方針について、活発な議論が行われました。

Check Point

企業部会とは

一企業や一業界の枠組みを超え、国民的な課題に対して真に議論し、この国をよくしていくという趣旨のもと設立された企業会員で構成される会です。生団連内の議論を深める場として、消費者部会とも連携を図りながら、今後も継続開催してまいります。



議 題

- 議題1 全体報告
- 議題2 2024年度大方針 最重点課題の在り方
- 議題3 地域生団連 今後の展開について
- 議題4 国家財政の見える化委員会 今後の活動方針について



▲小川会長

【小川会長より】

国民の生活を支える企業には、この国で事業を行う以上、この国に対して責任もあると考えている。

この国をより良くするためにどのような政策にすべきか、生団連のような国民団体が議論をしていかなければならず、生団連事務局内にも政策委員会を設けて、国の制度を見直すような議論ができれば良いと考えている。役員企業を中心に、30代から40代の有能な人材を出してほしい。経営から見ても、長期で見れば貢献できると確信している。

◆議題1・・・全体報告

堀口座長、村田座長および阪田事務局長代理より、各委員会の直近の進捗状況について報告されました。

◆議題2・・・2024年度大方針 最重点課題の在り方

あらゆる有事を想定し、現実的にどのように平時から揃えるべきか等について、日本の課題や生団連としてのアプローチについて、議論が行われました。

◆議題3・・・地域生団連 今後の展開について

2021年以降、埼玉・大阪・北海道に地域生団連を発足させました。今後の展開を進めるために、「都道府県単位ではなく、地方単位での発足等」について、活発な意見交換がなされました。

◆議題4・・・国家財政の見える化委員会 今後の活動方針について

「複数年度予算制度」を実現させるための提言を行うことが承認されました。また、今後の活動方針を検討するにあたり、

- ①「見える化」の実現を目指して活動を進めるか、新たな問題に取り組むか、
- ②どのような政策をもって実現を目指すか、について議論が行われました。



▲国家財政の見える化委員会 堀口座長
キリンビール株式会社 代表取締役社長



▲エネルギー・原発問題委員会 村田座長
株式会社高島屋 代表取締役社長
一般社団法人日本百貨店協会 会長